

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072900349		
法人名	社会福祉法人 幸充		
事業所名	グループホームくらし		
所在地	長野県北安曇郡松川村字南神戸4360番地19		
自己評価作成日	令和 7年 11月 6日	評価結果市町村受理日	令和 8年 1月 16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaizokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhou_detail_022_kani=true&amp;jisyosyoCd=2072900349-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaizokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhou_detail_022_kani=true&amp;jisyosyoCd=2072900349-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 ピュア		
所在地	長野県佐久市三河田71-1		
訪問調査日	令和 7年 11月 18日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人ひとりの生活史を大切に、今までやってきたこと、得意なこと、好きなことを継続して行えるよう、役割を持って生活をしていただいています。家庭の延長と捉え家事仕事や作業、裁縫、園芸や畑仕事をしながら得意なことを活かせるよう職員がコーディネートをさせていただいています。昔から馴染みのある物、歌、食べ物などを意識し、何気ないことで回想ができる、気持ちが穏やかになる雰囲気づくりに力をいれています。利用者も職員も共に楽しみ共に笑うことを大切に、日々のケアに努めています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

周囲には田畑、遠くに北アルプスを眺めることができ、同じ法人が運営する老人保健施設の隣に当ホームがある。開設から22年半が経過し、現状に甘んじることなく、法人理念とホームの理念を基にして、利用者が満足するようなケアに当たっている。今年度計画作成担当者が交代し、職員一人ひとりが利用者について自ら考えることに重点を置いたケア方針に努めている。タブレットを用いて研修をしたり、グループホーム会議でスピーチロックについて話し合ったり、また、利用者のケア時の羞恥心に配慮するなど、職員の人権意識の向上を図っている。地域との関係では地元保育園児との交流や演芸ボランティアの来訪、運営推進会議を兼ねた焼き芋会の実施などで様々な関わりがあり、今後、地域住民からしめ縄づくりを教えてもらったり、地域の道普請に参加させてもらうなど関わりを増やしていこうとしている。ホームの隣に老人保健施設があるため、防災面での協力が得られたり、看護師が24時間オンコール体制であったり、万が一の時には老人保健施設医師に相談できるなど、利用者や家族の安心感に繋がっている。また、利用者の楽しみの一つである「食」についてもホームの畑で利用者と一緒に野菜を栽培して収穫したり、日々の食材を利用者と買い物に行ったり、利用者の状況に応じて包丁を用いて下ごしらえしたりと、能動的な支援が行われている。ある利用者は生け花が趣味とのことで馴染みの生花店で花を購入し、ホームで生けたという。その事例から職員一人ひとりが利用者我真摯に向き合い、利用者の「自分らしくらし」を支えているということを感じ取ることができた。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		